

シルバー人材センターにおける事業補助金の有効活用

—養父市シルバー人材センターの事例—

○ 大阪商業大学 氏名 豊山宗洋 (6595)

キーワード：生涯現役社会，農業事業，市場競争力

1. 研究目的

シルバー人材センター（以下 SC）は、福祉社会を支える多様な中間組織の1つである（塚本 2016：88）。SC は「定年退職者などの高齢者に、そのライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」を提供するとともに、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上と、活性化に貢献」する組織である。それゆえ少子高齢化の一層の進行とともに、ますます存在意義を獲得していかなければならないはずの組織である。しかしながら期待とは裏腹に近年 SC の会員数は減少している。政府もこのような事態は認識しており、「生涯現役社会」「一億総活躍社会」というコンセプトのもとに、SC の活性化策を矢継ぎ早に実施している。だが、そうした活性化策が実際に効果を発揮するためには、それぞれの SC が、自らの地域の状況や保有する資源を認識し、それらをうまく活用して独自の工夫をおこなう必要がある。本報告は、公益社団法人養父市 SC の農業事業を事例に、そうした工夫のあり方を考察しようとするものである。

2. 研究の視点および方法

本報告は、SC の概要を示した後に、以下の3つの課題を設定して考察を進める。

第1の課題は、SC の会員の推移を確認し、最近の会員数減少に関して指摘されている要因を整理することである。

第2の課題は、会員の減少を受けて、また将来の SC への期待とともに、政府が SC 関連でどのような政策を提言・展開しているのかを考察することである。この政策提言は観念的に構築されたものではなく、そこには根拠となるさまざまな先進事例が存在している。その1つが養父市 SC である。

第3の課題は、養父市 SC が事業補助金（コンテスト方式で事業を審査し、補助対象期間を限って交付される補助金）を使ってどのように事業展開してきたのかを、とくに農業に注目して検討することである。また補助期間終了後の農業事業の状況も簡単に考察することで、政策に対する要請も導き出すことができる。

報告者は、2010年度から公益社団法人東大阪市 SC をクライアントとしてフィールドワークゼミナールを実施している。本報告はゼミ活動で得られた知見と、先進事例としてゼミ生とともに実施した公益社団法人養父市 SC の現地調査をもとにしている。

3. 倫理的配慮

本研究は、日本社会福祉学会が定める「日本社会福祉学会研究倫理指針」を遵守した。

4. 研究結果

第1に、2004年の高齢者雇用安定法の改正による高齢者雇用確保措置の導入の義務づけの影響は、2005年度以降の会員数の減少として表れている。その後いったん回復基調にのったが、2009年度をピークに、リーマンショックや事業仕分けなどの影響もあって6年連続で減少している。

第2に、政府の高齢者対策におけるSCの位置づけに関しては、2000年代以降に注目してSCの事業拡大の大きな流れがある一方で、2009年、2010年の事業仕分けによって国庫補助金が削減されている。2015年度に国庫補助金の総額は増額に転じたが、そこにおいては事業補助金への傾斜という流れとともに、雇用保険二事業補助金を投入してSCの事業拡大が図られている。

第3に、政府の政策提言・実施に先駆けて事業展開している養父市SCは、主に3つの事業補助金を活用して事業展開してきた。第1は「企画提案事業」（国200万円、養父市200万円×2事業）のもとでの①棚田再生事業、②特産品づくり事業であり、第2は「地域ニーズ対応事業」（国200万円、養父市200万円）のもとでの③学びのある田舎暮らし事業、④勇気をもって有機農業事業である。第3は「地域就業機会創出・拡大事業」であり、上記③と④の事業のほか、⑤Uターン・孫ターン・結う会いターン事業、⑥福祉の受け手から地域の担い手へ事業が実施されている。

5. 考察

養父市SCは事業補助金を通して、地域資源の活用、市場競争力を確保するための戦略、SC会員に従事させるための前提条件の整備、供給者と需要者双方の獲得につながりうるネットワーク形成をおこなっている。この観点は他のSCにも示唆を与える。

補助金終了後の農業事業は赤字運営であるが、それは通常の金銭的な評価にもとづくものであり、そこにおいて高齢者の就業能力の活用、環境保全という外部経済的価値は考慮されていない。SCに事業努力を求めるのであれば、外部経済的価値を組み込んだ評価基準を確立する必要がある。それを組み込むのであれば当然、地方公共団体や国からの支援が検討されなければならないことになる。

【参考文献】

- ・塚本成美（2016）「高齢社会問題とシルバー人材センターの役割」『城西大学経営紀要』12, 63-94.